



悩んでいませんか？

うまくやっていますか？

天国が！地獄が？

子どもを通した お母さんのおつきあい

大人同士のおつきあいも大変だけど、そこに子どもが加わると事態は一気に複雑に……そんなママたちのおつきあい事情を、Aさんの体験談をもとにみんなでおしゃべりしてみました。家庭危機管理士・関本先生の辛口アドバイスとともに自分たちの『おつきあい』をちょっとふり返って見るのもいいかもネ。

Aさんの体験談 子どものけんかが原因でひとりぼっちに。

子どもが同じ3才の男の子ということでBさんと親しくなり、毎日お互いの家を行き来して子どもを遊ばせるようになりました。ところがある日、子ども同士の間を機に、Bさんは私を避けて他のお母さん達と仲良くするようになり、ひとりぼっちになってしまいました。人づてに聞いた話によると、Bさんは、おとなしいBさんの子に対して何かと手が出る腕白なうちの子を、私があまり注意しなかったことに不満を感じており、それがあの日のけんかを機に爆発したということでした。

メンバー紹介



ちょっとトラブると、すぐに付き合いが切れちゃう

く り: この体験談を読んで、うわーイヤだなあ……と思ひましてね。男の感覚だったら「ごめん」の一言で解決するよなあ。
ぶどう: 今は何かトラブるとすぐお付き合いが切れちゃうけど、昔は、うちの田舎なんかでは、トラブりながらも何かしら付き合いが続いてたわよ。
りんご: 私がBさんだったらすごく辛いですね。あんまり強く相手の子に(Aさんの子に)言いにくいものね。
きのこ: 自分の子どもの事はちょっとキツメにしかっておいた方が、他のお母さんとの付き合いにはウケがいいですよ。私は相手のお母さんの子育ての仕方をチェックして、その場は合わせるようにしてマス。
バナナ: 相手の子もってなかなか叱れないよね。

子育ての智恵はおばあちゃんから

いちご: 子どもに注意する時は「ダメ」ってきつく言うよりは「OOちゃん痛い、痛いって言うてるよ」って語りかける方が子どもの心にうまく伝わるんですよ。
ぶどう: Bさんもそんな上手な叱り方が出来れば良かったのね。
バナナ: そういう上手な叱り方のテクニックは、どうやって身につけるんですか？
いちご: 子どもの目線になって見るとうまくいきますよ。
ぶどう: 昔はおじいちゃん、おばあちゃんが助け舟を出してくれたよね。
いちご: 最近のお母さんたちは若い人同士で固まっていて、あまりご近所づきあいが無いみたいですね。お年寄りからいいヒントがいただけるのね。

お悩み相談はちょっと離れた人に

きのこ: 私、思ったんですけどAさんとBさんの付き合いってうわべだけの付き合いだったんじゃないですか？
ぶどう: 子育て中は子どもと二人っきりの時間が多いから、公園なんかで大人同士でしゃべれるともう嬉しくて。
バナナ: そうそう。仲間じゃべるとストレス発散になるけど、しゃべりすぎるとんでもないトラブルのもとになったりして……。あーコワイ、コワイ。
きのこ: 私なんか近所のお母さんからいろいろと相談を受けていて、それでかえってトラブルになっちゃって……。込み入った話の相談相手はちょっと離れたところの人がいいなあと思って、そうしてマス。

いちご: うちの嫁も身近な人よりは少し離れた人の方が気軽に話が出来らしくて、子どもの悩みなんかを相談してるみたいですよ。

みかん: 子どもが関係してるトラブルは自分のトラブルよりも辛いですよ。私は子どもの友達のお母さんとは、(今のこの時期だけだと思って)割り切って上手に付き合っています。ストレスを発散できるグチれる相手はその人たちとは別に見つけて、いろいろと話を聞いてもらっています。

く り: 僕は悩み事は目上の人に相談してるな。同じ年の人に相談してもその答えなんて高が知れてるし……。

ぶどう: 私も子どもが気の合う友達のお母さんとは割り切って付き合ってるかな。やっぱり本当の友達は2・3人でいいから時間をかけて探したいなあ。友達が出来るとなかなかな新しい友達がよってこないもんね。ちょっと、勇気がいるけど……。

勇気を出して一人で行動してみよう

りんご: 子どもが小さい時は、離れたところで友達を作るのは難しいですよ。ばなな: 安易に出来た近所の友達ばかりと行動してないで、時には新しい友達探しに一人で遊び会なんかに参加すると自分の世界が広がっていくと思うよ。つるんでるとなかなかな新しい友達がよってこないもんね。ちょっと、勇気がいるけど……。

家庭危機管理士 関本先生のアドバイス 「やっていいこと・いけないこと」を決めましょう

Aさんのように突然関係が切れてしまうのは、AさんBさんのお子さんにとってもあまり良いことではありません。子ども同士の場合心がまだ素直なので、けんかをしても修復の余地がありますが、そこに母親の強い感情が入ると修復は難しくなります。母親同士よくコミュニケーションをとり、社会常識としての共通の「やっていいこと・いけないこと」を決め、それを子どもが守るように躾けていけば、トラブルは避けられより良い関係が築けると思います。母親同士、子育て支援の情報を取り入れ賢くなることも、問題解決の手助けになるでしょう。

- 似たような話はみなさんの周りにもたくさんあるようで、今回の井戸端会議はとっても盛り上がりました。
- 子どもを通したおつきあいには、いろいろと工夫されているようですね。